

2016年調剤報酬改定を踏まえて多剤併用への対応、健康サポート機能に取り組む
高齢者に対する適切な薬物治療の実践を医師と薬剤師が協働

一般社団法人 日本老年薬学会 設立記念講演会

2016年7月24日（日）

14時～17時30分（開場13時30分）

名古屋大学医学部（鶴舞キャンパス）

講演内容（予定）

高齢者に多くみられる症候、障害（精神疾患を中心に）

筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授

水上 勝義

高齢者には様々な精神症状がみられます。その治療として薬物療法が行われますが、高齢者は向精神薬の副作用が現れやすく特に注意が必要です。今回は、高齢者薬物療法ガイドライン2015の内容にそって認知症の行動心理症状、不眠症、うつ病に焦点をあて、症例を紹介しながら、薬物療法上の留意点について実践につながる講義を行います。



高齢者へ関わる薬剤師に求められるトータルマネジメント能力 ～体調チェック、ポリ・ファーマシー対応、在宅医療など～

医療法人つくし会 南国病院 薬剤部長

川添 哲嗣

薬剤師として高齢者医療、ケアに関わるために、多職種連携の重要性、高齢者医療における薬剤師の役割について知識と、技能、態度を修得できるように症例も提示しながら解説します。他職種、本人、家族に対するトータルマネジメントについて講義を行います。



高齢者の処方見直しへのアプローチ

同志社女子大学薬学部 臨床薬学教育研究センター 教授

杉浦 伸一

高齢者医療における薬剤師業務のシフトは1989年のゴールドプランに端を発している。それ以降の医療政策は、薬剤師を在宅医療の担い手にすべく進められており、薬剤師に求められる技能も明確になってきた。今回の講演では、高齢者医療に求められる薬剤師の技能について、医療政策、臨床栄養、フィジカルアセスメントの必要性を踏まえポリファーマシーの実態そしてアプローチ方法について具体例をあげて説明する。



[会員]無料 / [非会員] 3,000円 ◎参加は、会員優先になります。

学会年会費 [一般会員]5,000円 / [学生会員] 1,000円

設立記念講演会の参加には申し込みが必要です。
ホームページからお願いいたします。先着順になります。

講演会（今後の予定）

	関東圏	中京圏	近畿圏
第3回講演会	9月11日（日）	10月16日（日）	11月20日（日）

老年薬学認定薬剤師取得の為の必須講座となります

（受講証明書発行及び日本薬剤師研修センター受講シール発行予定）

◎参加申込はホームページをご確認ください
日本老年薬学会で検索してください。

<http://www.jsgp.or.jp/>